

妊婦の新型インフルエンザ（H1N1 インフルエンザ）り患に関する注意情報

新型インフルエンザ（H1N1 インフルエンザ）に関しては依然、国内でも発生していることが報告されており、秋からの流行再燃が懸念されていますが下記の情報が得られましたのでお知らせします。

- 2009 年 7 月 28 日米国疾病予防局（CDC= Center for Disease Control and Prevention）からの発表情報では妊婦の新型インフルエンザり患者は重症化しやすく同センターが調査した新型インフルエンザり患死亡例 266 例中 15 例が妊婦であることが報告されており、一般の頻度からみても高く、妊娠時に重症化するケースが指摘されています。（CDC－国立感染症研究所インフルエンザウイルス研究センター長_田代真人博士）
- 妊婦死亡に関連した報告は Lancet（7 月 29 日電子版）、また日本産科婦人科学会発信（2009 年 8 月 4 日付）の Q & A（一部改定）からも得られますので参照してください。
- また 2009 年 7 月 31 日付の世界保健機関（WHO）からの発表情報では下記の項目が示されています

1. 新型インフルエンザ（H1N1 インフルエンザ）においては、妊婦の場合、リスクが高まります（季節性の通常型インフルエンザにおいても妊娠時のリスクは指摘されているところですが、新型インフルエンザにおいては若年層のり患率が高いため、よりリスクが高まることが懸念されています）。
2. 新型インフルエンザり患が疑われる妊婦は諸検査の確定結果を待つことなく、速やかに（48 時間以内）抗インフルエンザ薬（タミフル）を投与することが重要です。また 48 時間以上たっても肺炎発症などの重症化を防ぐことも期待できます。
3. 新型インフルエンザワクチンが供給可能となった場合の優先接種対象として妊婦が挙げられています。

- 最新の注意情報
 - 厚生労働省（新型インフルエンザ最新情報）
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/index.html>
 - 国立感染症研究所（感染症情報センター）
http://idsc.nih.go.jp/disease/swine_influenza/index.html
 - 妊娠と薬情報センター（国立成育医療センター）
<http://www.ncchd.go.jp/kusuri/index.html>